

樂美術館事業計画要旨

2026 年度 期間 2026年4月1日（水）～2027年3月31日（水）

事業計画要旨

令和8年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館展示計画

2026年 新春展 春のことほぎ

特別展 樂歴代 一時代を超える茶碗たち

樂歴代特別展 菊を観る

2027年 新春特別企画 （予定）

2) 手にふれる美術館事業

・水月雪花之茶会

・Zoom de ギャラリートーク in RAKM

3) 館外展示計画 他の美術館との協力事業

2) 保存・修復事業

3) 作品資料収集事業

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。

2) オンライン講演会の充実を目指す。

III 学校・社会教育への協力を行う、文化・教育振興・普及事業

IV その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業

・その他の事業 I

・その他の事業 II

1) 当館多目的ホール・収蔵庫増設の建設

2) 2028年にパリ 日本文化会館での展覧会開催における準備

2026 年度

当館展示事業

展示事業 1 **新春展 春のことほぎ** 2026年1月9日（金）～4月19日（日）

「ことほぎ」は「言祝ぎ」と書き、言葉を使って祝うことをいい、この「ことほぎ」は言葉だけでなく、形としても表現されます。展覧会では、樂歴代による「ことほぎ」をご紹介します。銘、形、模様、絵柄などさまざまに「ことほぎ」を込められています。是非、樂焼ならではの優しく柔らかい「ことほぎ」を紹介します。

展示事業 2 **特別展 樂歴代** 2026年4月25日（土）～8月26日（水）
-時代を超える茶碗たち-

利休が娘婿に贈ったとされる初代長次郎の黒樂茶碗『万代屋黒』はじめ、時代を超えて来た樂歴代の優品の数々。また表千家六代覚々斎のお手造り茶碗や歌舞伎役者坂東玉三郎氏、ファッションデザイナーのNIGO®氏の手造り茶碗も展覧致します。
時代を超えて残ってきた作品、さらに時代を超えて残っていくのか、どうぞ皆様の眼で感じ取って頂ければ幸いです。

展示事業 3 **樂歴代特別展 菊を観る** 2026年9月1日（火）～12月27日（日）

菊は、寒さの中でも凛として咲く姿から、別名「隱逸花」といわれ、俗世に囚われない「隱逸者」の姿に例えられ、清らかで気高い美しさを持つ花の象徴として、古くから親しまれてきました。
そんな象徴的な花である菊をモチーフにした作品が樂美術館には残されています。樂歴代が、俗世のしがらみを離れ真摯に茶碗造りに向き合い続けてきた、そんな思いが感じられる作品を紹介します。

展示事業 4 **新春特別企画 （予定）** 2027年1月9日（土）～5月9日（日）

中之島香雪美術館「樂茶碗 利休が愛した器 樂歴代と茶の湯の世界（仮題）」（2027年1月23日～2027年3月28日）の開催に伴い、樂美術館では、樂家の樂焼の基本がわかるものをテーマとした展覧会を考えています。

手にふれる美術館事業

展示ケースごしの展覧ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手にふれる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の3事業を行う。

1. 水月雪花之茶会 （亭主：樂直入）年 4 回
2. Zoom de ギャラリートーク in RAKM 特別展の会期ごとに 3 回
3. 手にふれる樂茶碗鑑賞会 **現在休止中**

2026 年度

他の美術館との協力事業

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 佐川美術館（公益財団法人 SGH文化スポーツ振興財団）の展示、美術館活動に協力する。

※2025年9月29日～2026年6月末日まで施設の改修及びメンテナンス工事に伴い休館中

樂直入展 創造の軌跡

2026年7月1日（水）～11月23日（月・祝）

- 3) 海外美術館との協力関係を深める。
- 4) 中之島香雪美術館の展示、美術館活動に協力する。

樂茶碗 利休が愛した器 樂歴代と茶の湯の世界（仮題）

2027年1月23日～2027年3月28日

- 5) 2028年に、パリ日本文化会館と共催にて展覧会をするため目下計画進行中
展覧会タイトル（仮）：創造的交流

樂直入、アンドッシュ・プローデル、ブルーノ・マトン、日本とフランスのあいだ

会期：2028年5月2日（火）～7月29日（土）

会場：パリ日本文化会館

主催：パリ日本文化館・樂美術館